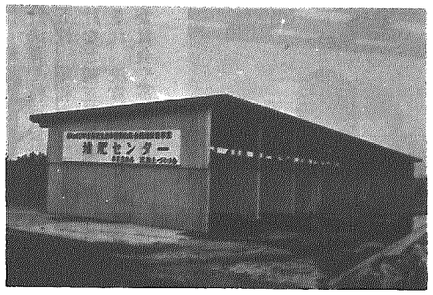
沢海土づくり会

堆肥センターが完成

若い力が集まり地力の増強図る



沢海地内に完成した堆肥センター

沢海土づくり会（立川幸一会長）が、昨年十月から焼山地内で建設を進めていた堆肥センターが十一月下旬に完成し、本格的な土づくりに取り組むことになりました。

沢海土づくり会は、露地野菜などの連作障害による品質、収量の低下が表れているなか土づくりの重要性を自覚する沢海地区の若手後継者十一名が集まり結成されました。良質の完熟堆肥を自らの手で製造し、田畑に施用することにより安全で高品質な農産物を長期間安定生産していこうと堆肥センターの建設、運営について先進地視察や協議を繰り返してきました。

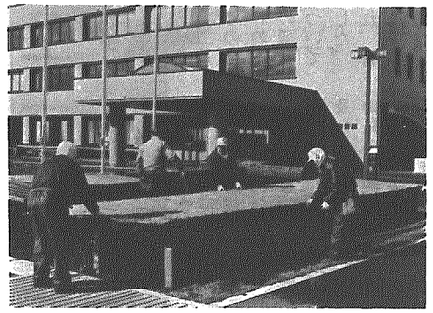
堆肥センターは、国の農業生産体質強化総合推進対策事業を導入し、堆肥舎（三一一平方メートル）一棟、堆肥切返機、堆肥運搬車、堆肥散布機など総事業費約一千九百万円で設置。年二回転で約十一ヘクタール分の完熟堆肥を製造することができます。

同土づくり会では二月からこのセンターで作業を開始して、農協ライスセンターから出るモミガラと酪農家の牛糞をもとに堆肥をつくり、秋作野菜から畑に施用していくことになっています。

厳しさをます農業情勢のなかで、農業の基である土づくりに真剣に取り組む、この若い後継者グループの活動に期待が寄せられています。

緑のボランティア

役場樹木の冬囲いに大奮闘


冬囲いに精をだすボランティアのみなさん

役場庁舎敷地内の樹木の冬囲いが、緑のボランティア（二十九人）の人たちの奉仕活動により行われました。

緑のボランティアは発足以来、公共施設の緑地整備の奉仕活動を進めてきており、その一環として行われたもので、降雪期を迎えた十二月一日から三日までの三日間、緑のボランティアのメンバーが交替で参加し、一部造園業者の指導を受けながらていねいな作業で手際よく進められ、みごとな冬囲いができました。

〈沢海地区〉

交通渋滞緩和に威力

観光対策で消雪パイプ設置

観光対策の道路改良として進められていた、沢海地内県道、村道の消雪パイプ設置工事が完了し、この冬からその威力を発揮しています。

県道沢海・荻島線の約七百メートルについては、県が昭和六十一年度から二ヶ年事業として総工費約一千九百六十万円（村負担三百九十万円）で、村道の北方文化博物館前から沢海下までの約七百七十メートルについては、村が国の補助事業（雪寒地域道路事業）を導入し昭和六十二年度に総工費約二千四百五十万円でそれぞれ設置したもので、降雪や温度によって自動的に操作されるという最新の全自動方式となっています。

この消雪パイプの設置により、沢海地内の冬季間の交通渋滞が大幅に緩和されます。

待望の消雪パイプが完成

婦人週間四十周年記念作文募集

労働省では、婦人週間が四十回を迎えることを記念して、小学生・中学生・高校生等から作文を募集いたします。たくさんご応募ください。

〔内容〕
女性の能力や役割について固定的に考えることを改善するような内容で。
例えば……
○お母さんとお父さんは共働きです
○女のくせに、男のくせにと言わないで
○私の進路、僕の進路　など

〔応募資格〕
小学生・中学生・高校生等

〔応募方法〕
四百字詰原稿用紙（タテ書き）五枚以内
題・氏名・生年月日・性別・住所・学校・学年を明記すること。
各学校に提出するか、または直接、新潟婦人少年室、あて送付すること。

〔表彰〕
労働大臣賞一名　他

〔応募・問い合わせ先〕
新潟婦人少年室
〒951 新潟市川岸町一丁目1番
☎二六六―〇〇四七

昭和63年度保育園児募集

1月13日・14日集合受付

地区	月日	時間	場所
横越	1月13日(水)	午前8：30←12：00	役場
小杉			
藤山			
駒込			
沢海	1月14日(木)	午後1：00←5：00	多目的ホール
木津			
二本木			

※入園決定通知は二月下旬頃に個人あて通知いたします。

今年一年の交通安全

家族で確認を

一年の計は元旦にあり――だれでも年の始めには、その年一年の決意を新たにするものです。

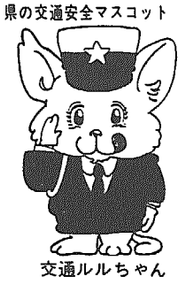
希望校を目指して勉強するぞ、仕事に生きて商売繁盛、早寝早起き…。このように年の始めの決意や願いはさまざまですが、ぜひその中に、今年一年の交通安全の誓いをつけ加えてください。

とくに正月は、家族全員がそろい、一家団らんのひとときを過ごす機会が多いものです。このチャンスを生かしてふだん家族が交通安全についてどんなことを心がけているのか確認し合ってはいかがでしょうか。

車を運転するお父さん、ミニバイクに乗るお母さん、そして歩行者や自転車利用者としてのお子さんやおじいさんなど、家族一人ひとりがさまざまな立場で交通社会に生きています。それぞれが外出先で、どのような点に気をつければ交通事故を防げるか、日ごろの反省を込めて話し合ってください。

また、正月だけに限らず、お父さんやお母さんは、いつでもお子さんのよい手本となるよう行動し、機会あるごとに交通安全の大切さを教えましょう。

県の交通安全マスコット


交通ルルちゃん

サンタがやってきた

保育園でクリスマスおたのしみ会

十二月に村内保育園でクリスマスおたのしみ会が行われました。

小杉保育園では十七日、きれいにクリスマスツリーが飾られた遊戯室で、おかあさんやおばあちゃんが大勢見まもるなか、この日のために練習を重ねてきた園児らによるかわいい劇や遊戯のほか、上手に合奏などが次々と披露されて、会場には大きな拍手が湧いていました。

このあと、園児たちお待ちかねのキャンドルサービスが行われ、クリスマス気分の盛り上がったところで、大きな袋をかついだサンタのおじさんがやってきて、園児一人ひとりにプレゼントが手渡されると、みんなひと足早いクリスマスプレゼントを手にして大喜びでした。

うれしいクリスマスプレゼント

昭和63年新春俳句大会

大勢の方の投句を

恒例の新春俳句大会を一月十七日(日)午前十時より横越村公民館で開催します。大勢のご投句を歓迎します。

席題○初　詣
○屠　蘇
○福寿草

三題通じて六句を、十七日午前十一時まで横越村公民館に投句してください。

詳しいことは、横越村公民館にお問い合わせください。

この人を訪ねて

山も写真も人生の友

写真集団で古里カレンダーを作る

横越　本間　一　人(44歳)

仕事の傍ら色々な趣味に親しみ、充実した毎日を過ごしている本間さん。

カラオケをはじめとして、若い頃から山に登ることが好きだったという本間さんは、山岳会会員、白鳥の会会員、自然保護指導員などのほか、山に行くたびに撮り続けてきたという写真も、六年前から写真集団横越島を発足させて活躍しています。

写真は山登りといっしょで二十年以上のキャリアがあり、県展で何度も入賞するという腕前の持ち主ですが、自然相手の写真が多いため、太陽の位置や天候など、いくつもの条件がそろわないといい写真がなかなか撮れないという難しさがあるそうで、『いいなあ』と思った時は、フィルムがいくら無駄になったとしてもその一枚を求めて徹底的に撮るというのが本間さんのやり方だそうです。

本間さんは、写真集団横越島のなかで中心となって、三年前から村を離れた人たちに少しでも古里の香りを味わってもらおうと、変わりゆく村内の自然や風景を収めたふるさとカレンダーを製作しています。今年のカレンダーは、母なる川・阿賀野川がテーマで、六枚つづりの暦に四季それぞれの表情が鮮やかに収められ、今まで忘れられていた村のよさや村の美しいところを写真という形で伝えています。

本間さんの「趣味でやっている山も写真も自分の人生の友ですね」と語る言葉から、自然を愛する心の温かさが伝わってきました。

(62・10・29有放より抜すい)

自然を愛し写真を撮り続ける

国民年金

納めてますか保険料

国民年金では、二十歳から六十歳未満（学生など一部の人を除く）の人は、国民年金保険料を納めることになっています。

厚生年金や共済年金は、給料から天引きされており、納め漏れということはでてきません。

また、サラリーマンの奥さんなど第三号被保険者の保険料も、配偶者が加入している厚生年金や共済年金の方から間違いなく納められています。

しかし、農業、自営業、自由業など第一号被保険者の保険料は、各人が自ら納めるようになっています。このため、納め忘れや納め漏れがでています。

基礎年金の費用は、全国民が平等に負担すべきものです。

保険料の納め忘れや漏れなどで、年金が支給されなくなるようなことのないよう、保険料は納期までに必ず納めるようにしましょう。

納期のお知らせ

今月は、国民年金保険料第10期（1月分）の納期です。

一月二十七日まで忘れず納めましょう。

税金を　おさめて築く　よい社会